

目次

第1編 業界展望	47
統計でみる冷凍食品	49
2017年の冷凍食品業界動向	52
有力冷凍食品メーカーの『いま』	59
メーカーの冷食ランキング	69
問屋の冷食取扱ランキング	70
マーケットの動向	
家庭用市場の動向	73
業務用市場の動向	74
冷凍食品メーカーの海外動向	76
※冷凍食品の条件とは何か（定義）	78

《安全と安心》を迅速にお客様のもとへ。

お客様への品質・温度・衛生の管理等「安全・安心」を実現するためには、物流（ロジスティクス）は業界にとって重要な経営のテーマのひとつ。

大京食品総合物流センターは、安全性・効率性に優れた設備、システム環境、きめ細かなサービスでお客様のニーズに的確にお応えします。

■ 大京の4つのポイント

情報・サービス等
お客様に
提案型営業を
推進しています。

企画室にてメニューの
提案・試作・商品の
開発をしています。

品質・衛生管理体制の
物流センター
配送システムは
万全です。

商品アイテムが
豊富です。



----- フードビジネスのパートナー -----

大歓迎 / 当社に製品を売りたい方、買いたい方、当社で働いてみたい方

ひろがる食文化をリードする。

DAIKYO

業務用食材のバイオニア



大京食品株式会社

代表取締役社長 窪田洋司

本 社 / 〒104-0033 東京都中央区新川1-9-4
TEL 03(3206)9211(代) FAX 03(3206)6946
横浜営業所 / 〒221-0022 横浜市神奈川区守屋町1-1-4
TEL 045(451)5521 FAX 045(451)5287

<http://www.daikyo-shokuhin.co.jp>

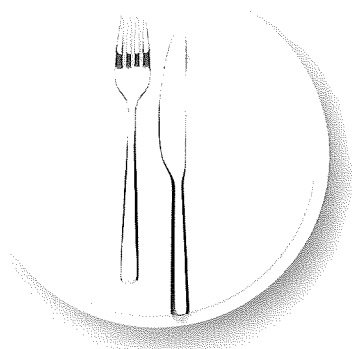


冷凍商品ピッキング作業場
冷凍商品は、最新設備の垂直で、冷凍庫（マイナス25℃）の自動ラックの品別棚番に入庫。ピッキング作業は定温冷蔵庫（1℃）で「安全・正確・迅速」に音声ピッキングシステムを使った作業システムになっています。

目 次

第2編 製造業者	79	第7編 原料・資材	363
第3編 問 屋	183	第8編 関係団体	385
第4編 商 社	295	第9編 日本冷凍食品協会会員名簿	407
第5編 運輸・保管	305	第10編 関係団体会員名簿	429
第6編 機器・設備	323		
第11編 資 料	471		
●冷凍食品の国内生産と消費	473		
●平成28年外食産業市場規模推計値	475		
●平成26～28年の外食産業市場規模推計値	476		
●冷凍めんの生産食数推移	477		
●冷凍めん生産調査	478		
●冷凍ピザの生産高推移・市場推移	479		
●冷食関係の主な企業提携・合併の動き(海外)	480		
索 引	493		
広告索引	502		

TAKASE
BUSSAN CO., LTD.



全国61カ所の拠点で外食店をサポート

外 食 応 援 企 業

高瀬物産株式会社

<http://www.takasebussan.co.jp>

外食産業用の「食材」・「酒類」・「資材」購入に関するお問い合わせは、
下記まで、お気軽にご連絡ください。

本社：〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町 12-4 高瀬ビル
TEL：03-3665-1270 FAX：03-3665-1275
E-mail：info@takasebussan.co.jp

統計でみる冷凍食品

日本冷凍食品協会が毎年発表する「冷凍食品に関連する諸統計」をベースに、冷凍食品業界の全体像を解説する。統計は、同協会の前身、冷凍食品普及協会時代の昭和34年から実施している。ここでいう冷凍食品とは、世界で共通する下記の4つの条件を備えたもので、いわゆる「冷凍品」とは別物。

- ①前処理している（新鮮な原料を選び、きれいに洗浄した上で、魚なら頭・内臓・骨・ひれなどの不可食部分を取り除いたり、三枚おろしや切身にしたり、その切身にパン粉をつけて調理できる状態）
- ②急速凍結している（凍結時に食品の組織が壊れて品質が変わらないように、非常に低い温度で急速凍結。ホームフリージングは冷凍食品とは呼ばない）
- ③適切に包装している（利用者の手元に届くまでの間、汚れたり、形崩れしたりするのを防ぐための包装で、適切な取り扱い・調理方法、法律で決められている項目の情報の表示）
- ④品温を -18°C 以下で保管している（食品の温度を生産・貯蔵・輸送・配送・販売の各段階で一貫して -18°C 以下に管理し、製造後約1年間は品質が変わらない）

※主な冷凍食品の生産統計は第11編「資料」に掲載しています

平成28年の冷凍食品生産量 155万t

日本冷凍食品協会の調査によれば、平成28年（1～12月）の冷凍食品国内生産は数量が155万t（前年比102.3%）、金額（工場出荷額）は6870億円（100.0%）だった。数量は20年前に比べると9.5%の増加、10

年前との比較では0.6%の増加、5年前に対しては9.6%の増加となった。金額は20年前と比べると5.7%減少、10年前との比較では3.2%増加、5年前に対しては9.1%の増加となった。

生産数量は統計がスタートした昭和34年以降、毎年右肩上がり急速に伸びてきたが、平成11年から縮小と拡大を繰り返し、18年の154万5200tがそれまでの過去最高。20年の天洋食品事件で21～22年は130万t台に落ち込み、23～24年に140万t台に回復、テレビのバラエティ番組で頻繁に取り上げられたこともあり、25年は155万tと過去最高を更新した。

生産は476工場、毎年減少

国内の冷凍食品生産工場は、28年実績で476工場（前年は480工場）。

国内の生産工場数は、20年前の平成8年と比べると50.4%（483工場）の減少、10年前の平成18年に対して38.8%（302工場）の減少、5年前の平成23年に対しては16.8%（96工場）減少している。

調理食品が生産量の87.7%占める

平成28年の国内冷食生産の品目別構成比を見ると、大分類では調理食品の割合が87.7%と最も大きく、このうちフライ類が23.3%、フライ類以外が64.4%。調理食品に次ぐ農産物は4.8%を占め、以下、水産物3.4%、菓子類3.6%、畜産物0.4%という構成。これらを前年と比べると、調理食品と菓子類、畜産物は構成比を高めたが、農産物、水産物は低下した。

大分類の品目別生産量では、原料作物の不作等により農産物（77.7%）が大幅に減

下水流1248-1 ☎0996-82-3698 FAX82-3189
 ▶鹿兒島営業所 ☎891-0133 鹿兒島市平川町586-2
 ☎099-261-8011 FAX261-5778
 ▶熊本営業所 ☎862-0947 熊本市東区画図町重
 富110 ☎096-378-6165 FAX378-9824
 ▶宮崎営業所 ☎885-0114 都城市庄内町
 12276-4
 ☎0986-37-3395 FAX37-1084
 [生産拠点]
 ▶松尾工場 ☎899-0203 出水市上鯖淵576-1
 ☎0996-63-0298(唐揚げ)
 ▶米ノ津工場 ☎899-0123 出水市下鯖町890
 ☎0996-67-1000(味付け肉)
 ▶高尾野工場 ☎899-0401 出水市高尾野町
 大久保3816 ☎0996-82-3311(オムレツ)
 ▶しらぬい工場 ☎867-0014 水俣市中鶴井樋口
 142-1 ☎0966-63-2811(ササミフライ)
 ▶錦江工場 ☎892-0836 鹿兒島市錦江町11-46
 ☎099-224-2661 FAX239-1313(やきとり)

マル幸商事(株)

[本社] ☎750-0093 山口県下関市彦島西山町
 4-13-48 ☎083-267-3727 FAX267-8642
 [事業内容] 水産物卸及び加工
 [創業] 昭和25年4月
 [資本金] 3,000万円
 [主要取引銀行] 山口銀行本店
 [年商] 12億円(28年1月期)
 11億円(29年1月期)
 [従業員] 60人
 [役員] 会長 古田巧/代表取締役社長 古田将
 [冷食事業開始] 昭和50年
 [冷食売上げ] 1億5,000万円
 [ブランド名] マル幸, マルハ
 [商品構成] 水産100%
 [主要製品] 鯨加工, 凍魚加工品, ふく加工
 [販売ルート] 市販用30%・業務用70%
 [原料買入先] マルハ, 極洋, 大阪魚市場他
 [冷食事業の基本方針] 鯨加工, ふく加工に注力する
 方針
 [生産拠点] ▶彦島工場 ☎750-0093 下関市彦
 島西山町4-13-48 ☎083-267-3727

丸大食品(株)

[本社] ☎569-8577 大阪府高槻市緑町21番3号
 ☎072-661-2514 FAX661-2504
 [ホームページ] <http://www.marudai.jp/>
 [事業内容] 食料品製造業
 [創業] 昭和33年6月10日
 [資本金] 67億1,625万円
 [主要取引銀行] 三井住友銀行本店 住友信託銀行
 本店 農林中央金庫大阪支店 りそな銀行
 [年商] 2,223億円(27年3月期)
 2,295億円(28年3月期)
 2,324億円(29年3月期)
 [従業員] 5,684人
 [役員] 代表取締役社長 百濟徳男/専務取締役
 倉森義雄/常務取締役 澤田安司/取締役 吹上渡,
 加藤伸佳, 千葉重好, 福島成樹, 嶋津享, 矢野秀雄
 /常勤監査役 澤中義和, 奥平卓司/監査役 西村
 元昭
 [主要製品] ハム・ソーセージ, 調理・加工食品, 食
 肉(部門別売上構成比: ハム・ソーセージ37.4%, 食肉
 29.7%, 調理加工食品32.7%)
 [販売拠点] ▶東京支店 ☎104-0045 東京都
 中央区築地4-7-5 築地KYビル5F
 ☎03-3524-8787 FAX3524-8731

マルハニチロ(株)

[本社] ☎135-8608 東京都江東区豊洲3-2-20
 豊洲フロント ☎03-6833-0826 FAX6833-0506
 [ホームページ] <http://www.maruha-nichiro.co.jp>
 [事業内容] 漁業, 養殖, 水産物の輸出入・加工・販売,
 冷凍食品・レトルト食品・缶詰・練り製品・化成品・
 飲料の製造・加工・販売, 食肉・飼料原料の輸入,
 食肉製造・加工・販売
 [創業] 昭和18年3月31日
 [資本金] 200億円
 [決算期] 3月31日
 [年商] 8,637億8,400万円(27年3月期連結)
 8,848億1,000万円(28年3月期連結)
 8,732億9,500万円(29年3月期連結)
 [従業員] 1,540人
 [役員] 代表取締役社長 伊藤滋/代表取締役専務
 執行役員 米岡潤一郎/取締役専務執行役員 渡辺
 淳, 押久保直樹, 中島昌之/取締役常務執行役員
 岡本伸孝, 田島正人, 池見賢/社外取締役 中部由

問 屋

〔年商〕3億円

〔従業員〕9人

〔販売先〕業務用100%

〔役員〕代表取締役社長 岡村二三夫／専務 美藤文夫

〔冷食事業開始〕昭和38年

〔冷食販売先〕業務用100% (医療・老健施設60%, 学校給食14%, 保育園7%, 惣菜3%, 弁当・仕出3%, 外食3%, 酒販2%, 卸ほか10%)

〔冷食売上げ〕冷凍食品60%=1億8,000万円, 常温食品30%, チルド10%

〔配送体制〕冷凍車=6台

三菱食品(株)

〔本社〕☎143-6556 東京都大田区平和島6-1-1
☎03-3767-5111

〔ホームページ〕

<http://www.mitsubishi-shokuhin.com/>

〔創業〕大正14年3月

〔資本金〕106億3,029万円

〔主要取引銀行〕三菱東京UFJ銀行 三菱UFJ信託銀行
三井住友銀行 みずほ銀行

〔年商〕2兆3,372億5,200万円(27年3月期・連結)
2兆3,830億6,400万円(28年3月期・連結)
2兆4,114億7,400万円(29年3月期・連結)

〔従業員〕3,945人(29年4月1日現在)

〔役員〕代表取締役社長 森山透／取締役 鈴木大
一朗, 古屋俊樹, 杉山吉彦, 榎本孝一, 毛利信作,
小野瀬卓／取締役(非常勤) 京谷裕, 柿崎環, 手嶋
宣之／常任監査役(常勤) 川口和哉／監査役(常勤)
榎本猛／監査役(非常勤) 神垣清水, 嶋津吉裕

〔冷食事業開始〕1967年4月

冷食事業は2003年1月1日付で分社化し(株)リョー
シヨクフードサービスに。更に2003年10月1日付
で同社が(株)ユキワと合併, 新会社名(株)オールワ
イフードサービスに。06年10月1日子会社のオールワ
イフードサービスと合併, 新「菱食」に。2011年か
ら3月期決算に変更。12年4月に菱食, 明治屋商事,
フードサービスネットワーク, サンエスの統合を完了。

〔冷食売上げ〕4,528億円(29年3月期)

〔チルド食品売上げ〕4,172億円(29年3月期)

〔冷食担当部署〕低温事業本部

〔冷食担当責任者〕小野瀬卓取締役常務執行役員

〔販売拠点〕

▶本社 ☎143-6556 東京都大田区平和島6-1-1
(東京流通センター) ☎03-3767-5111

▶北海道支社 ☎003-8580 北海道札幌市白石区
流通センター6-4-22 ☎011-590-7070

▶東北支社 ☎983-0035 宮城県仙台市宮城野区
日の出町1-4-8 ☎022-284-9611

▶中部支社 ☎454-0911 愛知県名古屋市中川区
高畑4-133 ☎052-365-0013

▶関西支社 ☎560-8513 大阪府豊中市少路
1-10-1 ☎06-6105-2700

▶中四国支社 ☎733-0833 広島県広島市西区
商工センター5-14-9 ☎082-278-5166

▶九州支社 ☎812-8571 福岡県福岡市博多区
上牟田1-11-28 ☎092-412-8800

(株)美濃忠

〔本社〕☎263-0024 千葉市稲毛区穴川3-8-10
☎043-255-1211 FAX255-9284

〔ホームページ〕<http://www.minochu.co.jp/>

〔創業〕昭和23年11月

〔資本金〕4,500万円

〔主要取引銀行〕商工中金 日本政策金融公庫
みずほ銀行千葉支店 三菱東京UFJ銀行千葉支店

〔年商〕61億3,000万円(27年7月期)

64億9,000万円(28年7月期)

66億6,000万円(29年7月期)

〔従業員〕135人(社員・契約社員)

〔販売先〕業務用100% (学校給食34%, 外食・中食
13%, 惣菜26%, 仕出し9%, 病院福祉18%)

〔役員〕代表取締役社長 本多昭巨／取締役 本多
味津江, 泉正男

〔冷食事業開始〕昭和29年

〔冷食の販売先〕業務用100%

〔冷食売上げ〕41億3,000万円(29年7月期)

〔チルド食品売上げ〕19億8,000万円(29年7月期)

〔その他低温食品売上げ〕4億9,000万円(29年7月期)

〔取扱メーカー〕キューピー5%, ヤヨイサンフーズ
4%, 味の素3%, ニチレイ3%, フジサニーフーズ3%
〔本社担当部署〕商品部 高石清部長

☎043-255-1313

〔配送体制〕冷凍車=3トノ車5台, 2トノ車23台, 0.8トノ
車5台／保冷車=0.8トノ車3台／委託先=松藤運送

〔冷食事業の基本方針〕安全, 安心な食品の取り扱い